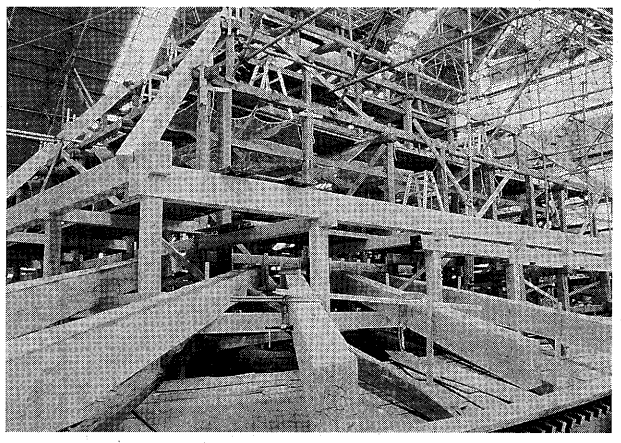
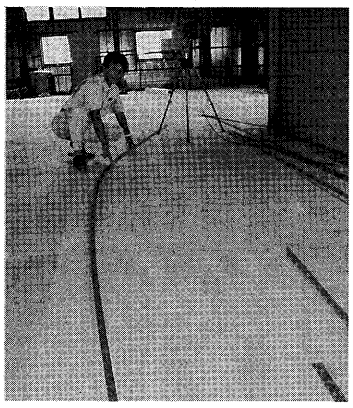
職能の誇りと職制組合せが好循環
大工技能と工務店の収益化



改修中の寺社の屋根　茅葺から金属屋根へ改修するための羽根木の増設

伝統木造建築の粋を極めてゆくと宮大工に行きあたる。社寺・寺院建築を専門としながら、商業建築物、マンション木工事、戸建て住宅と民間住宅建築を手堅く展開しながら徹底した大工技能集団を構築している工務店がある。長野県長野市の㈲寺島工務店だ。同社従業員29名中、20人が社員大工で、5名が現場代理人、4名が総務という社員構成をとる。大工比率が高いのは年間工事売上高の70%～75%を社寺建築が占めるからだ。ところが社寺建築という建築大工として年季に要る分野を担う社員大工の平均年齢は若い。実父である先代社長が、昭和38年に同社を創業してこの方、社員大工を連綿と育成する社内教育システムが出来上がっているからだ。大工技能者の公的な職能は2級大工技能士、1級大工技能があるが、公的な資格とは別に社内資格制度を同社では設けている。

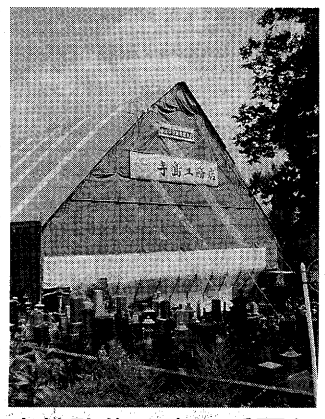
現在2名の初級大工として入職し、中級大工（同8名）、上級大工（同10名）、大工職としての頂点となる棟梁（同2名）と職制が設けられている。待遇は技能レベルと連動し、大工技能の研鑽が給与へ直結する仕組みを取っており、最速5年で上級大工へ上がる社員もいるという。入職1年目は昔風の奉公スタイルで基本給7万円～8万円程度。もっとも「今の子達を育てるには鞭と飴が必要」なので年間3回の賞与で調整も図られている。「手が早ければ仕事は終わるし、遅いなら時間をかけても終わらせる。残業として申請するか、自らの修行として自主的に行うは社員の考え方次第」と寺島社長は話すが、現場毎に工期と予算と品質を完遂するために励む社員の努力には待遇で報いている。



原寸図が作成出来るようになるまで最低15年はかかる

若者は3年で…の通説を覆す

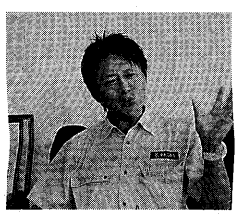
3K職務といわれながらも、地元中高生の校外学習に積極的に現場を公開するなどのPRも奏功し、社寺建築で名前の通った同社への大工入職希望者は増え続けている。平成23年に終了予定の大工育成塾研修性が1名見習い中で働いており、職訓校や技専の生徒から採用問合せは多い。新入社員、中途入社を問わず必ず入職者に約束させることが一つあるという。「絶対に辞めないこと。少なくとも10年は辞めないこと」の確認を取る。「それでも仕事は大変で辞めたくなる時は必ず来ます。一通り仕事が出来るようになった5～6年目が多い」寺島社長。棟梁になるまで最低でも15年かかる社寺建築大工技能の育成からすれば、中途退社は当人にも会社にも大変な損失となる。徹底した社員とのコミュニケーションで若手社員が育ち、人材の集積層が蓄積してきたことでより大きな仕事の請負が可能となってきた。社寺・寺院建築の元請けはゼネコンが多い。檀家等の関係調整や計画から竣工までの期間は3年ないし5年を要し、元請けするには双応の財務体力も必要となる。寺島社長は取引先ゼネコンへの配慮を維持しつつ社寺建築の元請け比率を高める経営に切り替えてきた。例えば曹洞宗大本山永平寺には全国各地から修行僧が集まるが、社寺の落慶法要等折には修行仲間の僧侶が手伝いに来る。工事の出来場映えに木工事を担当した寺島工務店の評判が僧侶の口コミで社寺に広がってゆき、仮にゼネコンが元請けに入るとしても「木工事は寺島で」と特命が入るようになってきたという。



寺社改修工事の重要な要素が本堂をぬらさないために仮設屋根

顧客の拘りには プロの真髄で対応

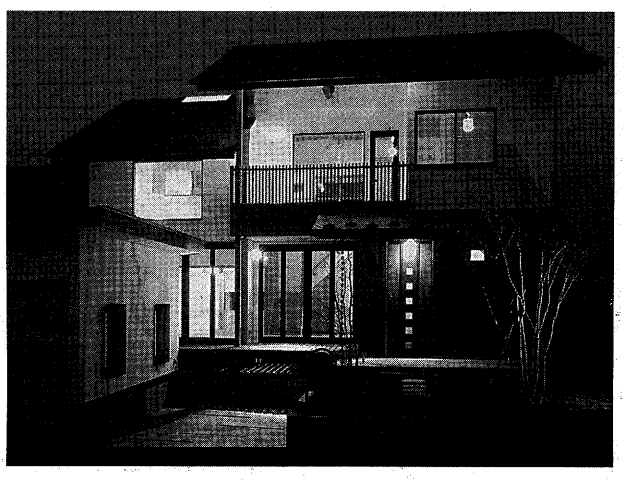
プレカットを使わない全て手刻みの大工技能集団で、社寺建築に優れた評判を保持することで、注文住宅の分野も着実に伸長している。ただし戸建住宅のキャパは年間8～10棟で順番待ちの状態であるという。注文住宅の顧客属性は「拘りの強い方、別の表現をすれば非常に注文の細かいお客様」の期待値を超えるには現場代理人（監督）の容量が手一杯であるからだ。奥さまの効き手でサニタリーのコンセント位置を左右に付け変えたり、施主指名の建材品があればプロの面子にかけてさらにより良い建材を探し提案するという。「現場見学会ではプレカットと手刻みの違いを説明することはしません。お客様はHPで更新される現場進捗状況の中で、墨付け、継ぎ手や仕口の手加工する状況をつぶさに見ながら手造りの価値観を感じていただけると思います」（寺島社長）



寺島秀敏社長

寺島工務店先代社長と健康住宅WB工法を展開する㈱ウッドビルド現社長は長兄と末弟の兄弟で、ウッドビルドで独立するまで寺島工務店を共に盛立てた。

片や名だたる大工技能集団で知る人ぞ知る寺島工務店と、こなた独自工法で600社に及ぶ工務店を組織化したウッドビルド。展開の方法は異なるが、大工技能と建築技術にのめりこんだ経営者の真髄は、事業継承する現経営陣に脈々と受けつがれようとしている。



技術の中にはデザインも含まれる。注力しているデザインは照明計画